

★ 郷土を愛する人々の雑誌 ★

# 神戸っ子

MAGAZINE  
KOBEEKO  
MAY  
1970 NO. 109



神戸っ子 昭和四十年一月十日第三編郵便物認可 昭和四十五年五月一日印刷 通巻一〇九号 昭和四十五年五月一日発行 毎月一回



**UCC. Café Mercado**



**UCC**  
**UCC**

おいしいコーヒーのたてかたを

® お教え致しております

**UC** 上島コーヒーショップ ★  
 さんちかメンスタウン TEL39-5677

**UCC.** 上島珈琲 本社直営  
 神戸駅前 TEL 34-3606~9

世界の宝石店

# MIKIMOTO

日本が世界に誇るミキモトパール  
ミキモトの新しい感覚で  
優雅にそして豪華に仕上げました  
フォーマルな装いの多くなる  
これからの季節に  
ぜひお使いいただきたい品々です



御木本真珠店

神戸=三ノ宮-神戸国際会館

TEL. 22-0062

大阪=堂島-新大ビル

TEL. 363-0247

阪神・阪急・松坂屋・高島屋

京都=河原町御池上ル

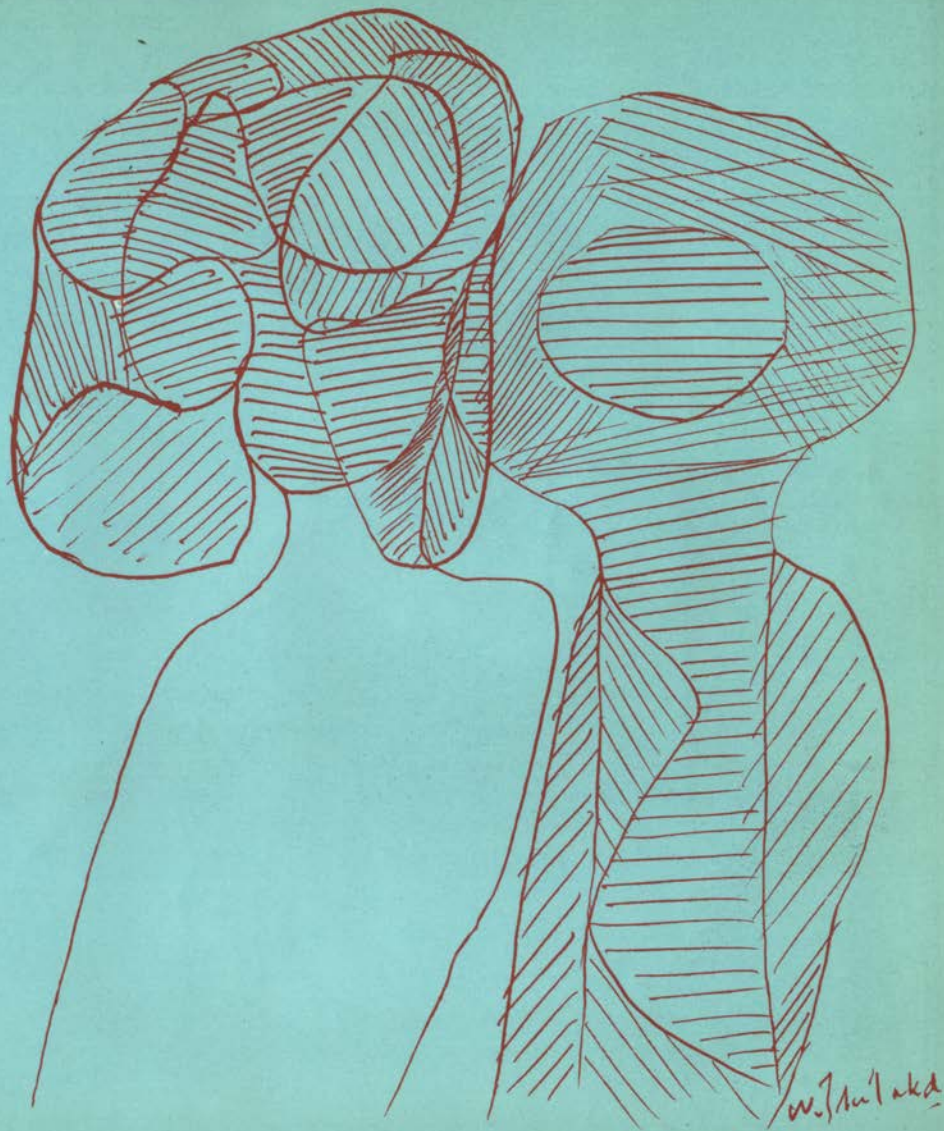
TEL. 241-2970

本店=東京-銀座4丁目

TEL. 535-4611

ガラス窓は蠅女の額ぶち海は絹模様の

絵十詩 津高和一



W. T. Nakada

# ● 神戸っ子'70

ジェニファ・コスタ 万国博イギリス館ホステス カメラ 川上 進

ロンドンブリッジは、遠く海路を経て日本に通じていた、人間の心の歴史を物語るかけ橋を想わせる。

ジェニファ・コスタ。ロンドン大学日本語科三年。

三年前、三浦雄一郎とのスキー映画に出演するために来日し、それが機会で日本語に興味を抱く。メルボルのモナーシユ大学で日本語を専攻する一方、一年前に学生結婚。医者を目指す夫君と共に渡英しロンドン大学に入る。天津で生まれ、台湾、アメリカ、パナマと各地で育った国際的感覚が、万博のホステスとして生かされている。愛する夫を得たメルボルの次に好き、という神戸の花隈で医学を勉強するために来日する夫君と四月から新居を持った。街を散策する彼女たちに会うことであろう。

〈写真はいずれもイギリス館の前で〉



# TASAKI PEARLS

## 田崎真珠

本社・神戸市灘合区旗塚通6-9  
三宮店・神戸新聞会館サニータウン  
パールギャラリー・東京都港区赤坂1-3-17  
ブラザ店・大阪ホテルプラザ内  
銀座店・東京都中央区銀座西6-7-19  
パールファーム・溜池電停前(シヨールーム)  
ヒルトン店・東京ヒルトンホテル内  
オータニ店・ホテル・ニューオータニ内  
札幌店・札幌パークホテル内

## 田崎真珠

さんプラザ店

4月28日open

三宮さんプラザ 3F

あなたの真珠はパール・マークのお店で  
日本真珠小売店協会加盟店



# ●神戸っ子'70——平吉毅州

〈桐朋学園短大講師  
第十八回尾高賞授賞〉

カメラ・米田定蔵

深山のひそかな胎動が、初夏の室を抜けて大河に通じ  
る響きにまで拡がる。音は五線譜に乗って無限に飛ぶ。

平吉毅州。昭和36年東京芸大を卒え、翌年第31回音楽  
コンクール作曲部門で一位。昨年十月、N響の定期演奏  
会での「交響変奏曲」が、年間の管弦楽に与えられる最  
高の賞である第18回尾高賞をうける。兵庫県高校時代に  
アンサンブルをつくり、本格的な作曲の勉強に入る。そ  
の幅の広さが、日本語を生かした和製ポップスにも興味  
を抱かせるのであろう。故郷の神戸には、ヤマハエレク  
トーン教室で和声楽を教えるために月に二回帰ってくる。  
15年ぶりに諏訪山を訪れて腕白坊主時代の想い出に浸る。  
東京在住。33才（写真左・諏訪山にて、右・三宮ヤマハエレクトーン  
教室にて）



# KANEKO Pearls & Salon

●かねこ パール\*サロン

## パール EXPO'70

世界の注目をあつめて開かれた  
EXPO'70に金子真珠は、  
サクラの花の金、銀のシンボルマークに  
日本の宝石パールをそえて  
美しいブローチ・ペンダントを  
創作しました。

シンボルマークのデザイナー大高氏も  
激賞したシャープな優雅なデザイン  
EXPO'70おしゃれプランに  
プレゼントにぜひどうぞ。

おしゃれをリードする……

## 金子真珠

神戸＝神戸市東灘区住吉町堂ノ木1824 TEL (81) 2881-3

東京＝東京都中央区銀座7丁目8-5金城ビル TEL (573) 1775

長崎＝長崎市大黒町14-5長崎ビル TEL (22) 1537







ブリッジは「カケ」をしないとい  
うきびしいマナーがあり、高級で上  
品な遊び。

木曜日(毎週)の昼下り、神戸国  
際会館三階にある集会室(E室)で  
テーブルを囲んでいる。

神戸在住外人商社員、会社役員、  
学生、OLなど時間にゆとりのある婦  
人層が圧倒的で、八台のテーブルに  
は、それぞれ、四人家族がなごやか  
に食卓を囲んでいるような雰囲気  
が漂い、自然に国際的で、上品な社交  
マナーが身につくと会員達はいう。  
なかでも学生さんは、会話の勉強も  
かねて入会しているようだ。

遊び方は、一テーブルに二人一組  
で、四人がすわる。対面した二人が  
「カード」の出し方で協力し合って  
味方の得点を有利に導き、四人が出  
したカードで、一番強い札を出した  
者が勝ち、最初に切札を決める事と  
相手がどんなカードを使うか、推理  
をはたらかせて先を読む。

現在、会員は五〇名で、神戸唯一  
のブリッジクラブ。

写真前列 右より

野田喜見、シャルボウ、柴川武子、  
ダルファー・ウィッキー、ノビイス  
クルードソン、イタ・ウダルビイツ  
チ、沢田みちこ、オルガ・モロゾフ  
ハンス・ハインゼンさん

後列・右より

ベア・サユリ、大谷淳子、森田剛彰  
野田 操、田中 英、高畑千代子、  
高橋夏子、小寺花乃、内海君子、  
高畑美紀、森本米子、宗方峰子  
モース・斎藤、エリーネ・パカシさ  
ん

WONDERFUL  
KOBE BEEF!



KOBE トア・ロードの坂道に  
また一つうまいもの地図のチ  
ャームポイントがふえました。  
嬉しいことに神戸肉のステー  
キハウスで味自慢。暖たかい  
サービスと気軽な値段、れん  
が造りのインテリアが素敵です。

ステーキハウス **RENGA-TEI**

**れんが亭**

神戸市生田区下山手通2丁目34  
〈トアロード・アメリカンファーマイシイ向い〉  
TEL 〈078〉 33-7168



メニュー★ステーキ1,500円・魚貝類500円・タイムランチ350円★営業時間★11:30~21:30迄〈第3月曜日定休日〉



フラメンゴ（ブラジル）対日本Aチーム  
釜本のシュートで日本が先攻したが、引分けに終わった



三国対抗国際サッカーで優勝した  
ヨテボリ（スウェーデン）チーム  
日本Bチームを8-0で圧倒した



## 春に駆ける国際交歓

御崎国際球技場

3月21日

新装なった  
御崎国際球技  
場で、一年ぶ

りの朝日国際サ  
ッカーが催された。

春の陽気に誘われ  
て観客は小学生を混  
じえての大歓声。

スウェーデンからの  
ヨテボリ、ブラジル  
からのフラメンゴに  
日本チームが対戦。  
国際交歓と勝負の厳  
しさがぶつかり合う  
面白さが感じられた。



前半、50秒でシュートした釜本も、  
後半は完全にマークされ得点  
できなかった



陽気なフラメンゴ（ブラジル）チーム

バラが華麗な花びらをひらく五月

ムラタパールの神秘的なきらめきが

あなたをより一層美しくする季節です

真珠・毛皮と舶来婦人服飾



さんちか\*レディスタウン  
TEL (39) 3886

村田真珠株式会社  
有限会社村田

神戸市生田区山本通4の97  
TEL (078) 23-1212

モデル/岡田由利 (K.F.G)



あなたの真珠はパール・マークのお店で

日本真珠小売店協会加盟店

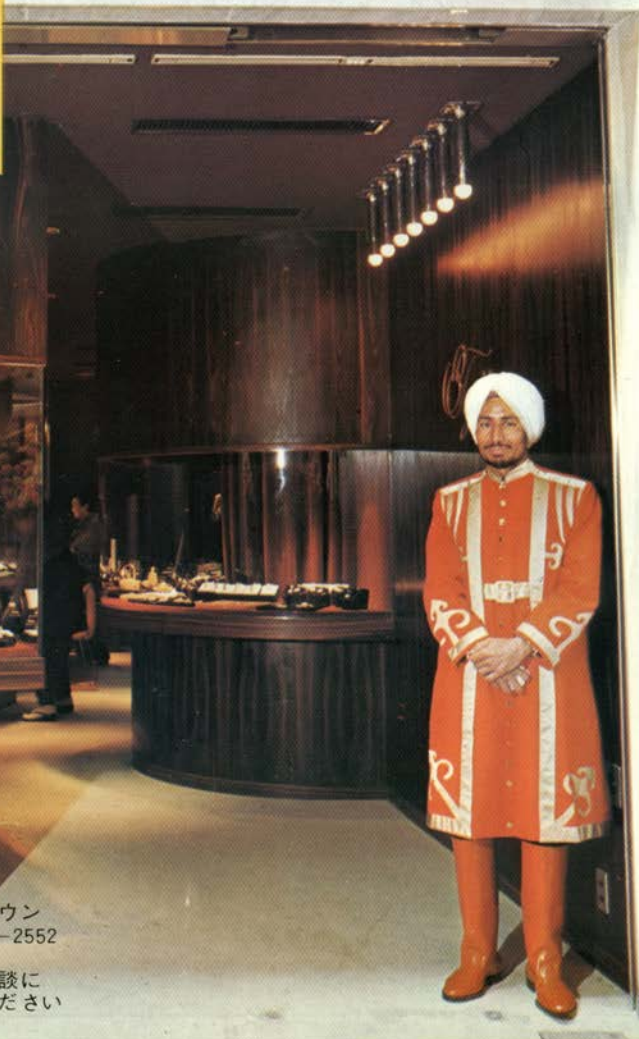


★世界最高級のエメラルド

この世界に比類のないエメラルドは、西暦紀元950年頃(約千年前)ロシアで16.48カラットの原石として発見され、当時のインド・カシミールの手へ渡り9.67カラットに磨かれ、彼の王冠についていたといわれています。皇帝の死後、1947年インド独立まで継承され、その後市場に売られ富商の手へ渡った後、さるインドの有数の宝石業者によって、4.73カラットの重量にまで小さく、今や完全な世界に類のないエメラルドに仕上げられました。



確信をもってタジマの眼が選んだ宝石の名品

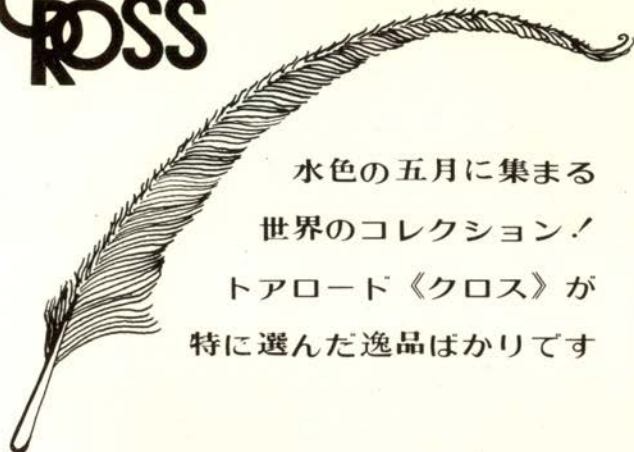


宝飾店  
*Tajima*  
タジマ

★もとまちフロータウン  
元町2丁目 TEL 32-2552

タジマでは、宝石の鑑定を無料でご相談に  
応じておりますので、お気軽にご利用ください

# CROSS



水色の五月に集まる  
世界のコレクション！  
トアロード《クロス》が  
特に選んだ逸品ばかりです



★靴と舶来雑貨

## クロス

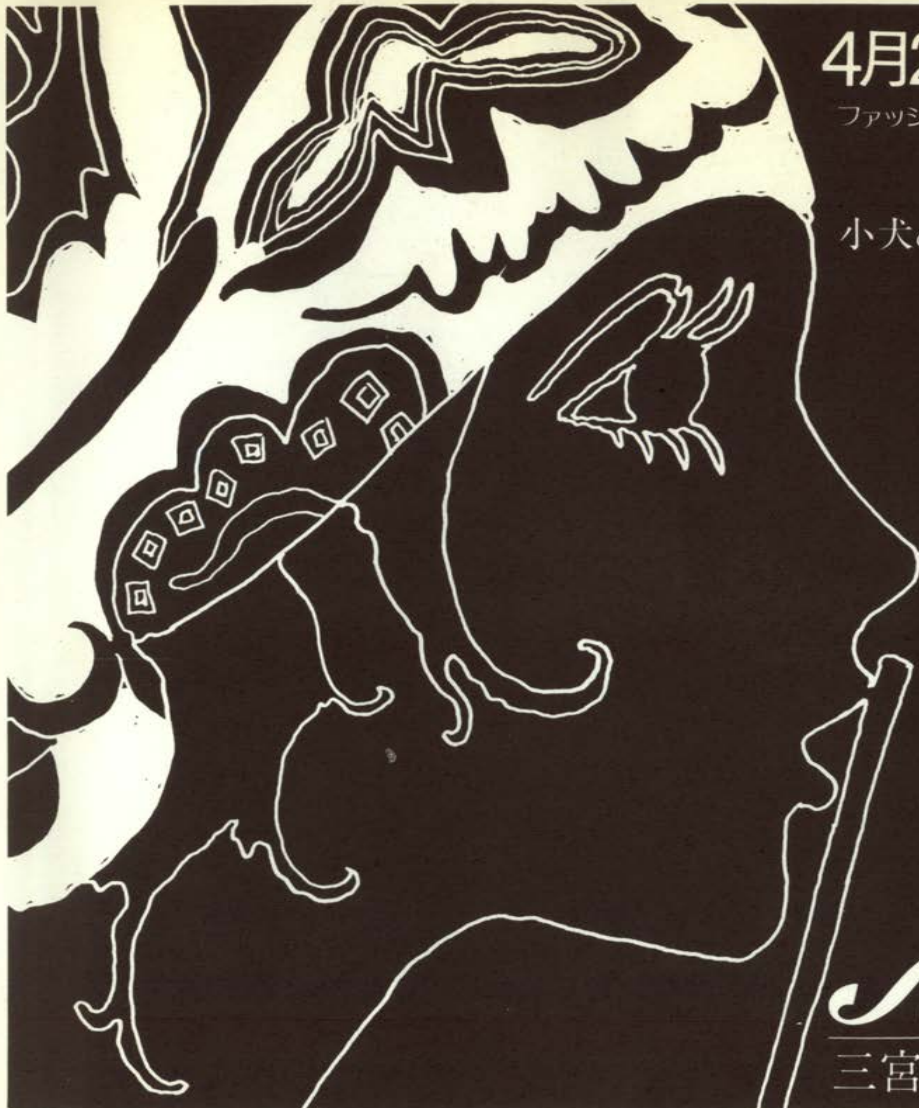
神戸 トアロード TEL39-1781(代)  
三宮 さんちカレディスタウン 39-2562  
大阪 阪神百貨店 TEL 361-1201

〈クロスでは只今店員募集中です〉

## 神戸っ子5月号目次

これは神戸を愛する人々の手帖です  
 あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
 神戸を訪れる人々にはやさしい道しるべ  
 これは神戸っ子の手帖です

- 表紙 / 小磯良平
- 2 Second Cover / 津高和一  
 3 神戸っ子 / 撮影・川上進 米田定蔵  
 ①ジエニファー・コスタ ②平吉穀州  
 7 ある集い / 神戸フリッククラブ  
 8 コウベスナツブ / 春に駆ける国際交歓サッカー  
 わたしの意見 / 李 珠栄  
 13 随想「六甲山上ではとどろきをきく」 十河 巖  
 15 随想「須磨哀愁」 林田重五郎  
 18 神戸っ子対談 / 宮崎辰雄★田中健一郎  
 27 経済ポケットジャーナル  
 28 技術ジャーナル / 諸岡博雄  
 31 神戸のアーバンデザイン / 末来編 街 ① / 水谷頼介  
 32 神戸のモダンリビング / 未来編 街 ② / 水谷頼介  
 38 EXPO ミニルポ / 水谷頼介★赤尾兜子★竹田洋太郎★諸岡博雄  
 46 キャンペラ船の旅から / 第二回神戸っ子クルーズ  
 ある集い・その足あと / 森田剛彰  
 48 神戸遊戯誌前相撲②青木重雄  
 50 シリウスコミックス / わたしのペット5岡田 淳  
 52 動物園飼育日記48亀井一成  
 54 おしゃべりたいむ / もてるおしゃべり  
 58 詩のあるアングル / 神戸のふるさと・野口武彦  
 60 ★中西勝・咲子夫妻にきく / 陳 昌臣  
 62 モーレッツに描いた・見た・聞いた  
 96 元町タウン・ジャーナル(5月)  
 恋愛入門「恋は犯罪の臭いがある」 / 細川重・え納 建  
 102 CINEMA 50パレードとカーニバルと映画と…… / 淀川長治  
 ショット・ショット(5文とえ / 向井修一)  
 109 神戸の集いから  
 110 神戸百店会だより  
 124 ポケットジャーナル  
 131 連載小説第一回「キリシタンの墓」 小山牧子  
 132 連載小説第四回「曲線ハイウェイ」 武田肇太郎  
 136 カメラ散策(5月) 緒方しげを  
 カメラ・米田定蔵 / カット・岡田 淳



4月28日オープン!  
ファッション アイ 三愛三宮店

小犬と朝のおしゃべりをする  
トム・ジョーンズを聞く  
エルを読む  
白いラブレターを出す  
ウインド  
ショッピングをする  
あしたは  
どのドレスを着ようか

ファッションレディのための  
ファッションブルな催し開催中

東京・ギンザ

San-ai 三愛

三宮店

センター街 さくらプラザビル内  
AM10:30~PM7:30第1・第3月曜定休

あなたが納得できるファッション

NON-FICTION FASHION CREATED BY SAN-AI



★わたしの意見

## 神戸カーニバルは

## 国際親善の輪

李 珠 栄

〈在日大韓婦人会兵庫県本部総務部長  
69神戸カーニバル最優秀賞受賞〉



★踊りのなかから祖国への愛情が生まれる

桜を韓国語では「友の花」と呼んでいます。ムクゲの根を抜いてまで桜を植えた韓国の地を踏んでも、私は日本への懐しさで胸がいっぱいになります。韓国が祖国ではありませんが、日本を第二の故郷と思う人たちが、それが兵庫県下六万人の在日韓国人なのです。

東京で祖国のサンカークの試合があれば、飛行機でも応援にかけつける私たちにとって、異郷神戸でのカーニバルほど楽しいものではありません。第一回のカーニバルには、韓国の代表的な踊りの「農楽」を、第二回には色彩華やかな「宮中の舞」を、昨年のカーニバルには宮中の舞の一種として知られている「扇の舞」を六十名の女性で踊り最優秀賞をいただきました。日本で生まれ、日本で育って祖国を知らない青少年たちも、学校を休み、試験を忘れ、職場を放棄してまで参加するこの神戸カーニバルを通じて、まだ見ぬ祖国への愛情と民族意識の昂まりがみられます。神戸市内の婦人会十四支部、一万五千人の母親の子を想い祖国を慕う気持が、神戸カーニバルでの国際親善となったのです。

★今年も頑張る「スーグンチュン」の踊り

今年のカーニバルには、色とりどりの薄い布をひるがえす「スーグンチュン」の踊りが、皆さんの眼を楽しませることと思います。百人ほどの女性のくりひろげるこの踊りは、若くして末亡人になった悲しみを表現したものです。韓国語もわからない子供たちを集めての練習でいろいろと苦労もありますが、韓国の踊りにはこんなすばらしいものがあるのだということ、神戸カーニバルに参加するすべての人たちに見ていただきたいのです。

韓国では先祖の祭りは盛大にしますが、日本のような祭りは少なく、まして神戸カーニバルという国際的な祭りは神戸ならではのものです。私たちも東京、地方の同胞に招待状を出して本当の国際親善の祭りである神戸カーニバルを見てもらおうつもりです。万国博と神戸カーニバルでの人の輪から正しい韓国を理解してほしいのです

## ローヤルペンキャンデー



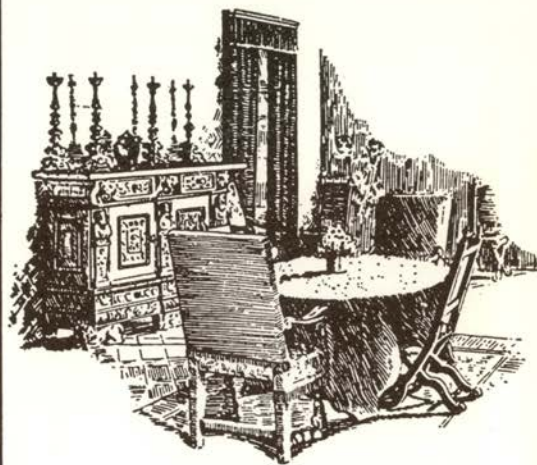
あなたに——  
おいしさをはこびます

・あなたの優雅ないこいの  
ひとときに、贈物などに  
ぜひどうぞ!

チョコレート\*キャンデー  
**ゴンチャロフ**

直売店 商工貿易センタービルB1 TEL(25)-0236  
直売店 さんちか・スイーツタウン TEL(39)-3563

## 家具・室内装飾・工芸品



## 永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前 TEL神戸(39)3737(代表)  
東京店・東急百貨店 [日本橋店内1階 TEL 03(211)0511  
本店(渋谷)7階 TEL 03(462)3180

□れんさいずいそう XII

# 須磨哀愁

林 田 重五郎  
〈随筆家・写真も〉



春の須磨、海の香が人なつこい

その夜、須磨の海辺は月がなかった。友人と酔いに乗じて、上筒井のカフェからタクシーを走らせてやっと来たのである。同行の女給さんが二人であったか、三人であったかは忘れてしまった。あのころの日本では、以前にも記したように、ダンスホール以外でもダンスは厳禁である。カフェで女給と踊っているところを警官に見つけられようものなら、軽犯罪どころか、店も女給も営業停止になりかねまじき時世である。この取締りに日ごろからムカムカしていたのが、意識下から行動に現われた。

暗夜を幸いに、砂浜をフロアに見たてて、口三味線、いや口バンドでダンスを踊り始めたのである。友人と二組、いい調子……三分……五分……突然、まわりから真っ黒な怪物が数体、包囲体形でさっと近寄って肩や腕を、むんずとみんなが押えられた。何をしているんだ、早まってはイカンぞ、などの声も乱れとぶ。私服のおまわりさんたちであった。自殺防止のため、御苦労にも偵察を続けているとき、海浜の怪しき男女の影、てっきり心中と違って取り押さえたのである。幸い仕事の関係で、顔見知りの防犯の刑事も交っていたので、笑い話で済んだが、とび上った心臓が、もとに納まるまで時間がかかった。三十六、七年昔の実話である。

あのころは、それほど、須磨は自殺の名所だった。鉄路の側には、ちょっと待てと書いた白い立札があちこちに立てられていた。神戸の事件記者は、夜は市内を東西に二分して、西まわりは須磨署から林田署——いまの長田署……と夜勤したものだ、夜十二時には必ずもう一度須磨署へ電話をして自殺の有無を確かめたほどである。週に

一、二度は悲報が待っていた。  
 昨今の須磨は自殺も少なくなったようで、あまり新聞紙面にも見かけない。戦前に比べてなによりも嬉しい変化だと思う。

◇ 須磨は歴史が地層を作っていると書いたことがある。  
 西紀八八六年須磨寺建立、翌年中納言在原行平



昔からある国道の陸橋、この下でマンホール殺人事件がおこった

須磨へ流される、九九六年藤原伊周（これちか）播磨へ流罪、一〇〇一年紫式部源氏物語を書き始める。一一八四年一の谷の合戦、下って一六〇二年豊臣秀頼須磨寺のいまの本堂を再建、一六八八年芭蕉の須磨明石の旅、一八九五年子規が須磨で療養、一九二四年俳人尾崎放哉（ほうさい）須磨寺の堂守になる。

源氏物語のなかでの須磨、明石はいうまでもなく代表的な部分になっているが、その跡をたずね歩いたことがある。

須磨寺で老僧に現光寺へまず行きなさいと教えられた。現光寺—平安末期までは源光寺、通称源氏寺と呼ばれていた、平家の世になって、これでは、はばかるとあって今の名に改名したとの説が伝わっている。

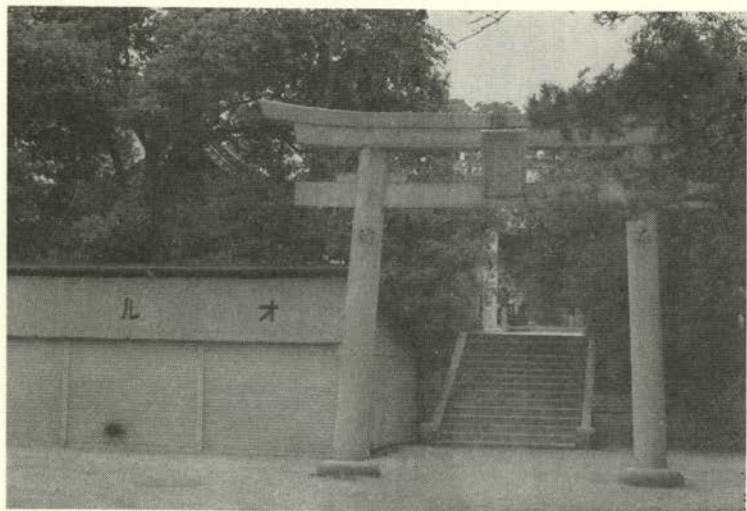
山陽の須磨駅から東へ百メートル歩いて、左折し、ガードをくぐってすぐ右側の台地の上にある。なかなかゆかしい寺である。シイの大木四本芭蕉もここにあった風月庵に宿り、境内に三段初りと呼ばれて有名な

見渡せば ながむれば

見れば 須磨の秋

の句碑がある。宝物記のリストが残っているが行事に使った菓子盆とか塩焼きツボの名が見える。源氏物語が有名になり、須磨の光源氏のモデルは行平と考えられ、行平が流されていた住居のあとに源氏寺が建つ、小説と史実が重なったとの推理が成り立つのが面白い。

行平と親しくなった二人娘が、行平が京へ帰ったあと観世音を祭った離宮道の松風村雨堂、あの伝説も、中年の男と若い娘たちの話と考えると、



天神さんの境内にはガレージができていた



須磨の海、釣り人たちのどかである

今日的で昔の話とも思えぬ新鮮さがある。

源平合戦のなかの青葉の笛——須磨寺の新しい  
宝物殿に飾られているが、

一の谷の戦さやぶれ……

と笛をながめながら、口ずさむのも、須磨散歩  
の一方法である。コンクリートのケバケバしい宝  
物殿が出来て——などと嘆く前に。

◇

池のサクラのシーズンが過ぎたが、これからよ  
いのは須磨浦公園を高見まで登って、松を通して  
須磨浦を見下す風景である。海水浴シーズンにな  
ると、あまりにも人が多く、味わいどころではな  
いが、晩春の須磨海岸は、一年を通じて、最も  
親しみやすい香りがする。海と山とが、こんなに  
せまって、これだけの景色を作っているところは  
大都会のなかでは、ほかにないのではなからう  
か。

◇

昔話をもう一つ——天神さんの南の国道の陸橋  
あの下のマンホールで男の惨殺死体が防水布にく  
るまれて発見されたのは昭和九年五月二十三日だ  
った。男はあんま業で、弟子が免許状ほしきの天  
一坊事件を起こしたものとわかったが、その犯人  
の妻で、西新開地のバーの女給をしていた女の写  
真を、苦勞して探しあてたときは驚いた。まれな  
美人であった。もう三十六年も昔、いまでは六十  
歳を越えていようが、あの子の彼女はどんな人生  
であったらうか……そんなことを思い出しなが  
ら、天神さんのなかへ、はいつてみると、ガレ  
ージがズラリと並んでいた。これも戦前では考えら  
れぬ須磨風景である。